

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題スチレンオキシドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験試験番号

JCL028115

試験方法

OECD 化学品テストガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠。

- 1)被験物質： スチレンオキシド
- 2)実験方式： 半止水式 (24及び48時間後に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： オオミジンコ(*Daphnia magna*)
- 4)実験期間： 21日間
- 5)試験濃度 (設定値)： 対照区, 0.020, 0.060, 0.180, 0.540, 1.620, 4.860 mg/L, 公比; 3.0
- 6)試験液量： 100 mL/容器
- 7)連数： 10容器/試験区
- 8)供試生物数： 10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9)試験温度： 20 ± 1°C
- 10)照明： 室内光, 16時間明/8時間暗
- 11)分析法： HPLC法

## 結 果

### 1)試験液中の被験物質濃度

実験開始時における試験液中の被験物質濃度は設定値の95.5～105.0%であった。24及び48時間換水前は揮発および加水分解により設定値の53.8～76.7%に低下していた。また、下記の算出には測定値の時間加重平均値を用いた。

### 2)21日間の結果

親ミジンコの半数致死濃度(LC50) :	3.000 mg/L
50%繁殖阻害濃度(EC50) :	>3.664 mg/L*
最大無作用濃度(NOEC) :	0.140 mg/L
最小作用濃度(LOEC) :	0.421 mg/L

\*:測定値から算出した最高設定濃度の時間加重平均値